

2023年1月6日

通貨ニュース

新興国：世界景気減速の影を濃くする PMI

S&P Global 社が集計するグローバル購買担当者指数 (PMI) によれば、12 月製造業 PMI は 48.6 と前月 (48.8) からやや低下した。先進国 (47.8→47.3) では生産が下げ止まるも新規受注が引き続き悪化。新興国 (49.7→49.8) は生産が4か月ぶりに拡大/縮小の目安となる 50 を回復も、新規受注は前月比で低下した (図表 1、2)。他方、非製造業 PMI は 48.1 と前月比横ばい。先進国は前月比でさらに低下 (47.5→47.2) も、新興国の改善 (49.2→50.1) が補う格好となった。

これらを合わせたコンポジット PMI は 48.2 と前月 (48.0) からやや改善も、8 月以降、50 割れが続く。世界経済の実質 GDP 成長率は 2022 年 4～6 月期に前期比マイナスに陥ったが、これがしばらく続く可能性も示唆される (図表 3)。

グローバル製造業 PMI の新規輸出受注 (46.1) は、コロナショック時を除けば、2009 年以降で最低の水準に近い。世界的な需要減退により、貿易活動は縮小が予想される (図表 4)。供給制約の改善効果が剥落してくれば、より顕著となろう (図表 5)。実際、原材料在庫の積み上げニーズは後退しているようだ (図表 6、7)。生産見通し (59.8) も過去の水準と比べれば依然低めにある (図表 8)。

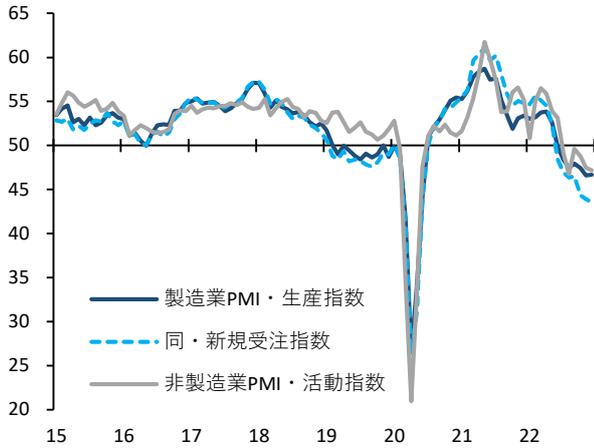
なお、個別の新興国では、ブラジルの製造業 PMI の低迷が引き続き注目される (図表 24)。前月にみられた急速な悪化は一時的な要因ではないようだ。新規受注、生産が低水準にあり、受注残も低下する中、雇用は 2 か月連続で 50 を下回った。新規輸出受注の低迷に象徴される世界的な需要減退の影響が大きいとみられるが、1 月より発足した左派政権による経済政策見直し (国営企業改革撤回や賃金引き上げの加速等) も加味する必要がある。同国の非製造業 PMI が 50 超を維持したにもかかわらず、雇用は 19 か月ぶりに 50 を下回った点に、その辺りの懸念がうかがえる。また、外需減退の影響という点では、シンガポールの全産業 PMI の大幅悪化 (56.2→49.1) が目を引いた (図表 18)。

このほか、事実上のゼロコロナ政策放棄を経て、経済正常化の期待感が高まりつつある中国も、改善の動きは鈍い (図表 9)。非製造業 PMI は小幅改善 (46.7→48.0) も、製造業 PMI はむしろやや悪化 (49.4→49.0)。足許で急速な感染再拡大が生じており、経済正常化への道は決して平坦ではない。新規輸出受注がいずれも 50 を下回っているように、外需減退も重しとなる。もっとも、時間を要するとはいえ経済正常化へ踏み出したことにより、製造業の生産見通し (56.1→59.3) と非製造業の活動見通し (58.9→62.7) には大きな改善がみられた。

一方で、インドは製造業/非製造業ともに PMI 指数が上昇、いずれもコロナショック以降の最高水準に再び近付きつつある (図表 19)。生産と新規受注が大きく上昇しており、他国とは一線を画す状況が続いている。製造業の原材料在庫の積み増しニーズに強さもうかがえるほか、非製造業では新規輸出受注が回復。経済持ち直しが他国とラグをもって生じたこと、地政学的な恩恵の享受に加えて、世界的な需要シフト (財からサービスへ) 等も背景にあるとみられる。

市場営業部
マーケット・エコノミスト
堀内 隆文
03-3242-7065
takafumi.horiuchi@mizuho-bk.co.jp

図表 1: 先進国



出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 2: 新興国



出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 3: グローバルのコンポジット PMI と GDP 成長率



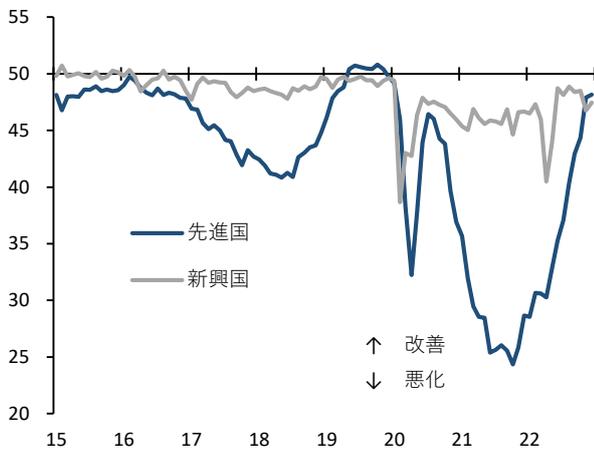
出所: S&P Global、ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 4: 製造業 PMI・新規輸出受注指数と世界の貿易量



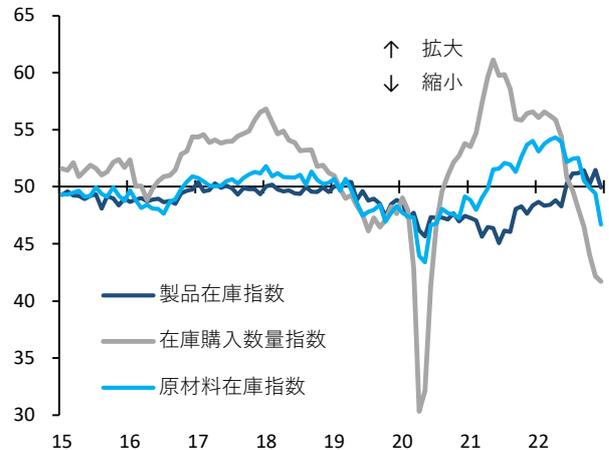
(注) 貿易量は直近3か月とその前の3か月とを比較した伸び率
出所: S&P Global、CPB、ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 5: 製造業 PMI・入荷遅延指数



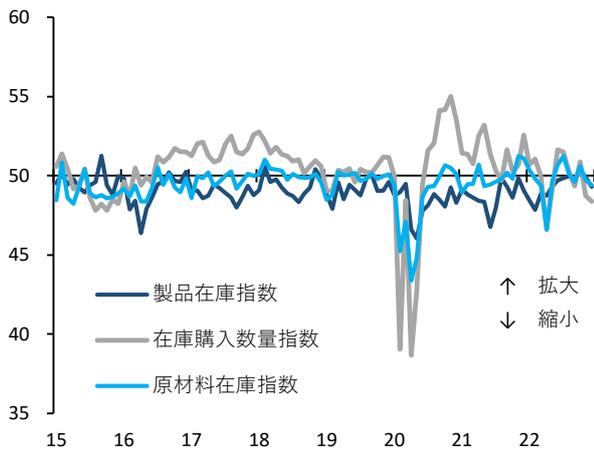
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 6: 先進国の製造業 PMI・在庫関連指数



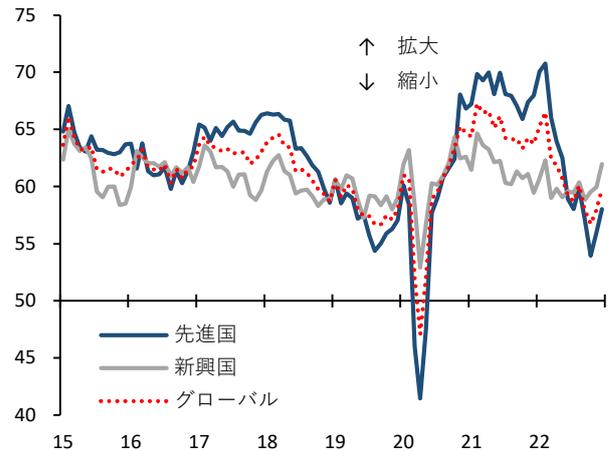
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 7:新興国の製造業 PMI・在庫関連指数



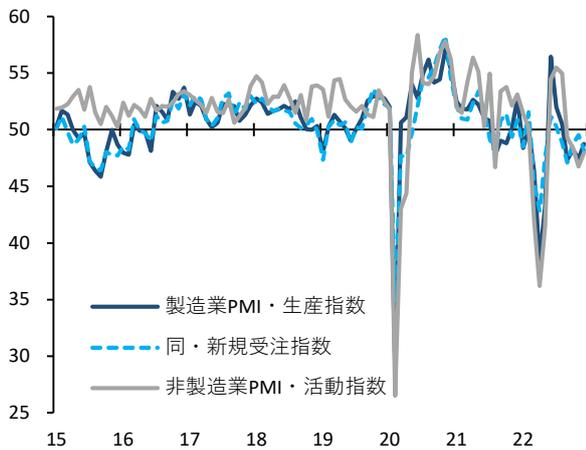
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 8:製造業 PMI・生産見通し指数



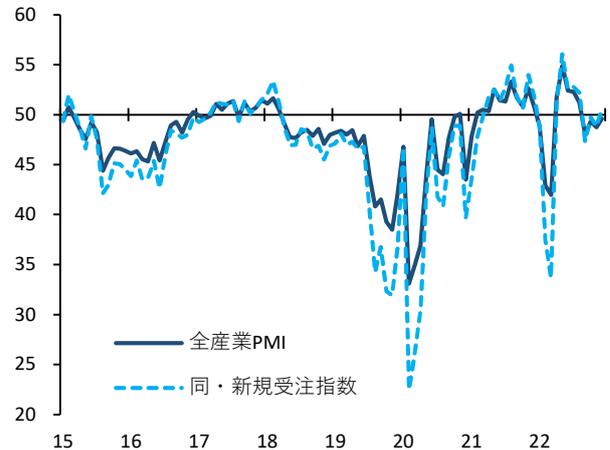
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 9:中国



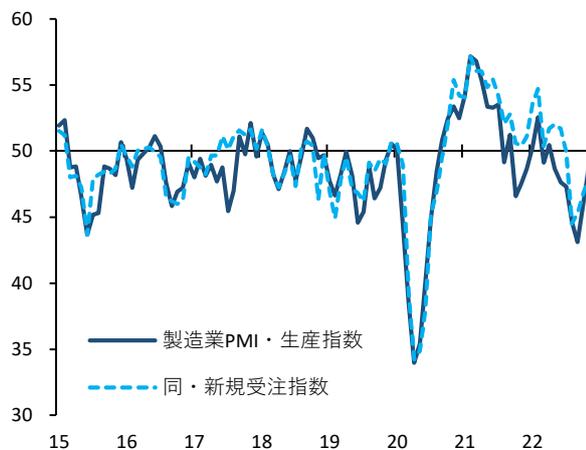
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 10:香港



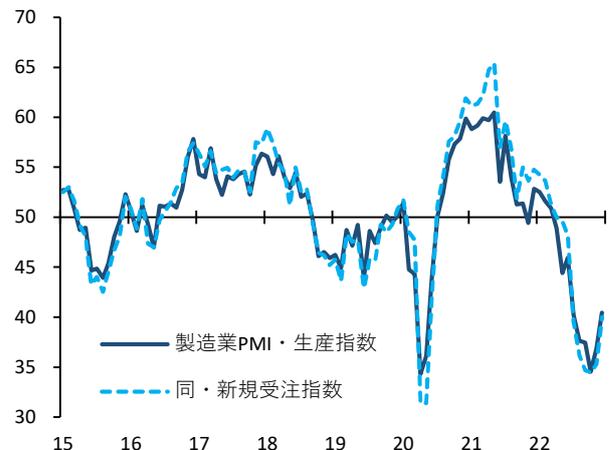
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 11:韓国



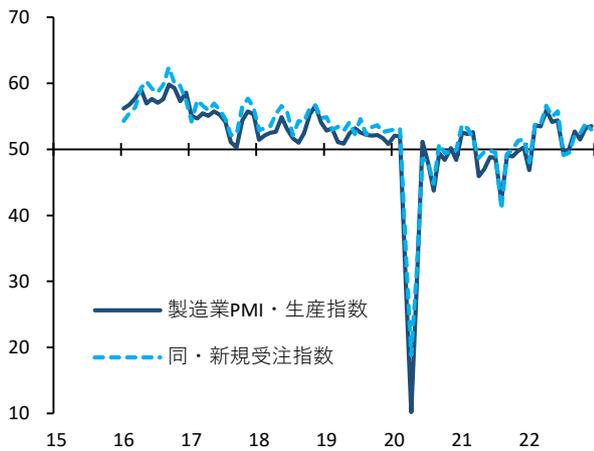
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 12:台湾



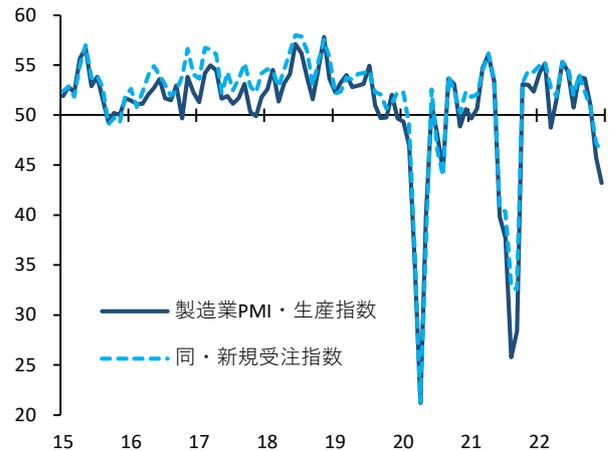
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 13: フィリピン



出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 14: ベトナム



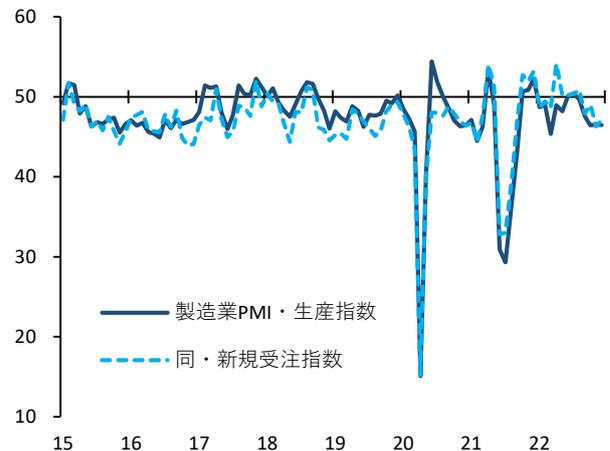
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 15: タイ



出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 16: マレーシア



出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 17: インドネシア



出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 18: シンガポール



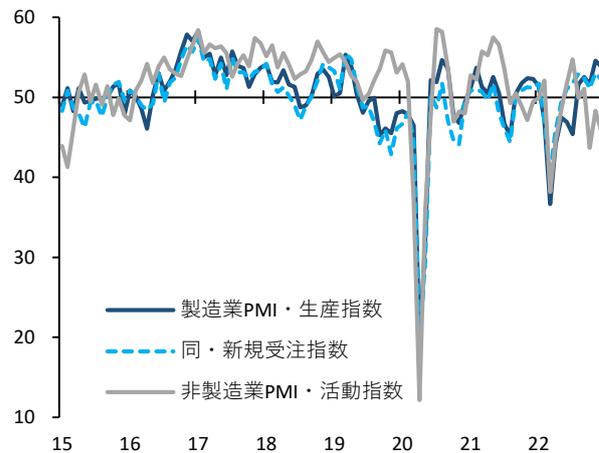
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 19: インド



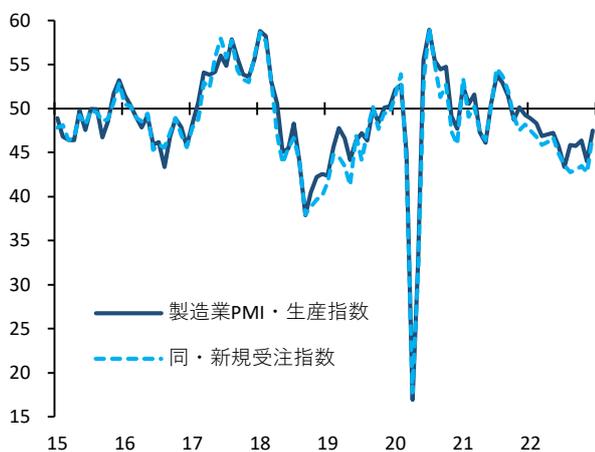
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 20: ロシア



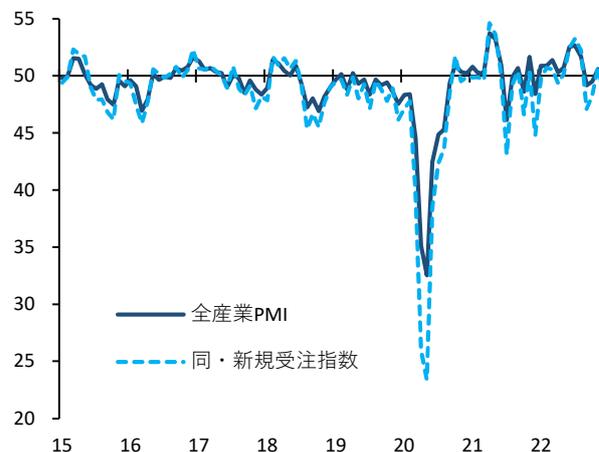
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 21: トルコ



出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 22: 南アフリカ



出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 23: メキシコ



出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 24: ブラジル



出所: S&P Global、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。